

# 令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	5-1-1		
2 地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち		
3 政策	みどりの創造と保全		
4 施策	みどりの拠点拡大【重点】		
5 評価担当部	都市整備部		
6 施策関連課	公園緑地課		
7 評価者	土木担当部長		

8 施策の目標	<p>公共施設の跡地活用や防災性の向上に取り組み居住環境総合整備等の活用により、新たな公園・児童遊園等を整備・拡充します。</p> <p>公園の改修及び再整備について、各公園の価値を引き出すため、地域の実情を踏まえながら、だれもが快適に集い、憩えるようなみどり豊かな公園等の拡大を目指します。</p> <p>民有地の緑化面積の拡充に努めます。</p>						
9 施策の現状と課題	<p>池袋駅周辺では、南池袋公園の再整備をはじめ、区庁舎の跡地活用と連動した公園の再整備、東京芸術劇場と機能連携した野外劇場型の公園の再生、造幣局東京支局跡地を活用した区内最大の防災公園を整備しました。しかし区内には、中小規模の公園が数多く点在していますが、他都市と比べ公園の総量は不足している状況です。</p> <p>これからも魅力的な豊島区のまちを発信していくためには、公園の多様な個性を生かしながら、歩行者優先のまちづくりを進め、既存公園の維持管理や改修整備を進めながら、新たな公園を生み出していく必要があります。</p>						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	<p>都市公園の設置にあたっての基準は、国が一律に定めていたものであり、平成24年改正により、地域の実情にあった最適な行政サービスの提供に実現する観点から、地方公共団体自ら条例で定められるようになりました。また、平成16年の都市緑地法改正により、みどりの基本計画内に都市公園の整備方針を追加して、市町村が地域の状況に応じて自主的に策定する緑の基本計画に即して都市公園の整備を行うこととしています。近年、環境や社会貢献に対する区民の意識が高まり、公園施設の設置や管理に地域住民等の参画などのニーズが高まっている一方、コロナ禍における公園利用者の利用マナーの悪化が懸念されています。</p>						
11 今年度の施策の取組方針	<p>防災公園街区整備事業を活用した、公共施設の跡地活用による防災性の向上を図るとともに、新たなみどりのオープンスペースを整備・拡充します。</p>						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	3,014,351	3,283,595	3,934,071	7,472,036	2,869,885	
	うち一般財源分(千円)	814,656	1,101,593	3,009,792	4,322,072	1,970,275	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	公園の新設・改修面積(新設面積の累計)【㎡】	目標値	24633	24633	24633	33323	58100
		実績値	24633	24633	24633	34025	70657
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	102.1%	121.6%
		達成状況	A:達成	A:達成	A:達成	A:達成	A:達成
	指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 公園の整備は区内のみどりの拠点が増加したことを示す指標であるため				
	指標(2)	補助指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	豊島区における緑被率【%】	目標値	12.9	12.9	12.9	12.9	13
		実績値	12.9	12.9	12.9	13.2	13.2
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	102.3%	101.5%
達成状況		A:達成	A:達成	A:達成	A:達成	A:達成	
指標重要度の割合(%)	30	指標設定理由 緑被率の向上が、区民の潤いある快適な暮らし、また区民満足度の向上につながると思われる指標のため					
指標(3)	補助指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
「みどり豊かで、災害時にも有効な比較的規模の大きな公園がある」と回答した区民の割合【%】	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
	実績値	30.9	35.7	38.7	36.5	42.6	
	達成率	61.8%	71.4%	77.4%	73.0%	85.2%	
	達成状況	C:未達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	
指標重要度の割合(%)	20	指標設定理由 区民意識調査の結果を活用					
14 施策達成状況	令和2年度達成状況	108.3%	【達成状況分析】				
	A:達成		<p>①公園の新設整備面積について、令和元年度は「雑司が谷公園(拡張部):7,308㎡」、「池本だんだん公園:1,340㎡」、「南長崎三丁目仮児童遊園:743㎡」を開園した。令和2年度は本区の公園として最大面積となる「としまみどりの防災公園:17,000㎡」・「としまキッズパーク:1,059㎡」の併せて約1.8haを開園した。</p> <p>②緑被率は、令和元年度に5カ年に一度の現況調査を実施した。結果、目標の13.0%を上回る13.2%となった。</p> <p>③区民意識調査は前年を下回ったがH25(23.2%)と比較して着実に上昇している。令和元年度、2年度で併せて約2.8haの公園新設やその他公園の改修を複数実施した結果、十分な効果が出ていることを検証できた。</p>				
			【指標重要度の割合の設定理由】				
			公園の整備面積は最も大きい施策の指標であるため過半を設定。次に、緑被率、区民満足度調査を30%、20%で割り振った。				

# 令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	本施策の主たる事業である「公園・児童遊園新設改良費」は、新設または改修する公園に要する費用である。豊島区における区民一人あたりの公園面積は、畳半分にも満たない0.81㎡/人(R2年度末)であり、特別区内最下位は変わらない状況である。近年は、公園面積が増加しているが、人口の増加によって、区民一人あたりの面積は微増に留まっている。そのため、新設公園の面積を評価するとともに、補助指標でみる区民意識調査の結果も踏まえて判断したい。
16 施策貢献度の考え方(設定の根拠・理由)	「公園・児童遊園新設改良費」が、当施設に最も重要な施策であることから★★★とした。また、「緑化推進関係経費」については、補助指標である緑被率が大きく向上したことの寄与していることから、同じく★★★とした。そのため、施設整備後の公園等の施設の維持管理に要する経費については★★、これからの公園の活用を検討する「中小規模公園活用プロジェクトモデル整備事業経費」はみどりの創造と保全の上からは★とした。
17 来年度の方針(課題解決策や改善策、成果向上策について)	令和元年度、2年度は、整備・改修を実施した公園が順次供用開始となるため、公園の新設・改修面積や、緑被率の向上も大いに期待できる。一方で、区民意識調査での評価も向上できるよう、ハードの作りこみだけでなく、管理運営面での一層の創意工夫や、低利用の児童遊園などを、区財政への負担を抑えつつ利活用へ向けた取組を推進していく。
18 新規・拡充事業の効果や必要性	中小規模公園活用プロジェクトモデル整備事業では、既存公園の利活用を目的に事業展開している。令和元年度に新設または改修された公園等も含め、これらの有効的な活用や維持管理方法を引き続き検討していく必要がある。

19 施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1103-01	公園・児童遊園新設改良費	事業費合計(千円)	2,312,998	2,470,150	2,949,204	6,574,330	1,930,682	
		うち一般財源分(千円)	180,318	356,512	2,100,985	3,503,370	1,127,635	
		現状評価	B:普通	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2	国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	A:現状維持	A:現状維持
1103-03	緑化推進関係経費	事業費合計(千円)	29,351	35,128	24,964	27,416	19,401	
		うち一般財源分(千円)	24,749	30,626	20,255	14,717	15,127	
		現状評価	B:普通	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
1103-04	中小規模公園活用プロジェクトモデル整備事業経費	事業費合計(千円)				42,873	4,327	
		うち一般財源分(千円)				42,873	4,327	
		現状評価						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度				★	★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性				A:改善・継続	A:改善・継続
20 施策を構成する一般事業								
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1103-02	公園等維持管理運営事業経費	事業費合計(千円)	672,002	778,317	959,903	827,417	915,475	
		うち一般財源分(千円)	609,589	714,455	888,552	761,112	823,186	
		現状評価	B:普通	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持

# 令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	5-1-2		
2 地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち		
3 政策	みどりの創造と保全		
4 施策	みどりのネットワークの形成		
5 評価担当部	環境清掃部		
6 施策関連課	環境政策課	公園緑地課	
7 評価者	環境清掃部長 高桑 光浩		

8 施策の目標	区道の街路樹・植樹帯を整備することによって、公園・児童遊園等をはじめ、公共施設や民有地の緑をつなぎネットワークを形成していきます。						
	学校等の区有施設のほか、民有地への植樹などを通じて、区全体の緑化を推進します。						
	様々な主体による緑化活動を支援するとともに、主体相互間の連携・協働を推進します。						
9 施策の現状と課題	<p>○区内のみどりのネットワークを形成する主なものは街路樹であるため、都道や区道の整備事業に伴う街路樹整備により、一定の設置割合を維持するよう努めている。街路樹等の設置割合の維持に加え、樹木の健全な育成と歩行者の安全確保のため、適切な維持管理が求められている。</p> <p>○ヒートアイランド現象による地面や建築物の蓄熱が、熱中症など健康に深刻な影響を及ぼしており、地面や建築物の蓄熱量を抑えるため、身近なみどりを増やす必要がある。</p> <p>○近年、区内全域で緑化の取組を行っている個人・企業等が増えており、緑化の取組を支える様々な団体や個人の活動を支援することが必要である。</p>						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	○区内の再開発の進展により、区の人口は増加を続けており、集中的な緑化を行う余地が年々減少している。						
11 今年度の施策の取組方針	○集合住宅のベランダなどでも育てられる低木のPRを強化。						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	86,889	83,722	77,807	79,527	22,490	
	うち一般財源分(千円)	42,253	44,388	52,076	41,256	22,490	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	街路樹の設置割合【%】	目標値	77.80%	77.80%	79.00%	79.00%	79.00%
		実績値	77.80%	77.80%	79.00%	79.00%	79.00%
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		達成状況	A:達成	A:達成	A:達成	A:達成	A:達成
	指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 設置割合の増加は、区内のみどりが増加し、みどりのネットワークが形成されていることを示す指標であるため。				
	指標(2)	補助指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	植樹本数(苗木配布本数を含む)	目標値	10,000	10,000	7,000	3,000	3,000
		実績値	8,803	18,230	10,005	6,701	16,768
		達成率	88.0%	182.3%	142.9%	223.4%	558.9%
達成状況		B:相当程度達成	S:目標超過達成	S:目標超過達成	S:目標超過達成	S:目標超過達成	
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 平成21年度より「グリーンとしま」再生プロジェクト事業が開始となり、その時点で10年間に100,000本の植樹を実施するという目標設定をしており、施策達成度を測る指標として適正である。					
14 施策達成状況	令和2年度達成状況	329.5%	【達成状況分析】				
	S:目標超過達成	平成21年度から集中的な植樹を開始し、平成30年度までの10年間で目標の10万本を達成した。この間、学校や老人保健施設の職員はもとより、NPOや地域住民の協力により、維持管理も実施している。					
		【指標重要度の割合の設定理由】					
区内の緑の多くは、公園や街路樹によるものだが、公園や公共施設の空き地に「いのちの森」「学校の森」の植樹をしており、公園緑地課の職員の協力を得ている。							
15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	基本的には、植樹した施設が維持管理を行っており、地域住民が育成をしている場所もある。学校教育に取り入れるなど、高密度都市の中で自然に触れる機会となっている。						

## 令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

16 施策貢献度の考え方 (設定の根拠・理由)	<p>「グリーンとしま再生プロジェクト事業」は年間10,000本の植樹(苗木の配付を含む)を目指し、10年間で100,000本の目標を掲げ、平成30年度で100,000本達成した。また、平成30年度は本プロジェクト10年目にあたり、10万本達成記念イベントを10月28日に実施した。その後、区長から「区民1人1本、29万本」という新たな目標の表明があり、これまでの植樹の維持管理に比重を移しつつプロジェクトを継続する。</p> <p>「誕生記念樹配付事業」については、平成27年度からの事業であるが、子どもの誕生を祝い、健やかな健康を願って苗木を贈るとともに緑化の推進を図る事業である。申込み件数が事業開始年度より増加しており、区内植樹本数に一定の貢献をしている。</p> <p>「街路美化経費事業」は、街路樹の適正な維持管理を行うことにより、樹木の健全な育成と歩行者の安全を確保し、みどりの保全に貢献している。</p>
17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	地域住民が自主的に育樹を行い、高木となった場所をはじめ、今後は「いのちの森」「学校の森」としていかに維持していくかへ移行する時期と捉えている。
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	「いのちの森」のコンセプトを熟知した委託業者からノウハウを得、必要な維持作業を行う。

19 施策を構成する計画事業							
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
0601-01	「グリーンとしま」再生プロジェクト事業	事業費合計(千円)	20,973	22,492	30,351	19,974	17,877
		うち一般財源分(千円)	20,973	22,492	30,351	19,974	17,877
		現状評価	A:良好	B:普通			
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2 区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	C:縮小	A:改善・継続	A:改善・継続	A:改善・継続
0601-02	誕生記念樹配付事業	事業費合計(千円)	3,053	3,104	4,725	4,282	4,613
		うち一般財源分(千円)	3,053	3,104	4,725	4,282	4,613
		現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★	★	★★
	事業特性2 区単独	今後の事業の方向性	B:改善・見直し	B:改善・見直し	B:改善・見直し	A:改善・継続	A:改善・継続
20 施策を構成する一般事業							
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
110.3-05	街路美化経費	事業費合計(千円)	62,863	58,126	42,731	55,271	
		うち一般財源分(千円)	18,227	18,792	17,000	17,000	
		現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	
	事業特性2 区単独	今後の事業の方向性					